



81 st CRC Seminar

楠本 正一 先生

大阪大学名誉教授

「細菌表層の複合糖質 — その構造、 化学合成と生物活性」

時間：2013 年 7 月 18 日（木）15:30～16:30

場所：総合教育研究棟（生命系）1 階 遠隔講義室

楠本正一先生はグラム陰性細菌の細胞表層複合糖脂質、リポ多糖（LPS；別名エンドトキシン）に関する研究を精力的に続けてこられました。LPS の脂質部分である Lipid A 部分の構造を完全に解明され、その構造を化学合成され、LPS のエンドトキシン活性が Lipid A にあることを世界に先駆けて証明されました。楠本先生は大阪大学ご退官後もサントリー生物有機科学研究所所長などを歴任され、本学寒冷バイオフィロンティア研究センター客員教授もお引き受けいただいています。今回、来盛されるのを機会に、天然物化学や有機化学に関する教育的なご講演をお願いしました。多くの皆様、特に学生、大学院生のご参加をお待ちしています。

（問合先：西山賢一：nishiyam@iwate-u.ac.jp）